

◆◆◆ 広告一覧 (五十音順) ◆◆◆

アネスアルファ……………表 2, i, ii
 アネスネット……………1155
 医学書院……………1224, 1225
 医書ジェーピー……………1126
 エム・ディー・マネジメント……………表 3
 南山堂……………1134
 日本ベクトン・ディッキンソン……………表 4
 メディカルブレーン……………1215

次号予告 2026 年 1 月号 Vol.33 No.1

[徹底分析シリーズ] ○○ははじめました

▼ 無痛分娩ははじめました 大学病院の場合

福島県立医科大学附属病院 手術部 小原 伸樹

群馬大学医学部附属病院 麻酔・集中治療科 堀内 辰男

群馬大学医学部附属病院 産婦人科 佐藤 達也

▼ 無痛分娩ははじめました 一般病院の場合

厚生中央病院 麻酔科 長澤 実佳・若菜 秀美・谷川 沙織

▼ ペインクリニックははじめました

大阪病院 緩和ケア・ペインクリニック科/麻酔科 清水 雅子・田中 克明

▼ PACU ははじめました

東京科学大学病院 麻酔・蘇生・ペインクリニック科 水野 えり・仙頭 佳起

▼ NORA (非手術室麻酔) ははじめました

北里大学医学部 麻酔科学教室 松田 弘美

▼ 術後外来ははじめました

福島県立医科大学 麻酔科学講座 薬師寺 たつみ

▼ RRT ははじめました

福島赤十字病院 麻酔科 江花 英朗・出羽 明子

福島赤十字病院 クリティカルケア認定看護師 鈴木 安英

▼ 麻酔科による急変対応ははじめました

東京女子医科大学 麻酔科学分野 武石 健太

▼ 麻酔科が新規事業をはじめるために～病院長の視点

横浜市立大学医学部 麻酔科学教室 後藤 隆久

[症例ライブラリー] 無尿と乏尿

オーガナイザー：市立貝塚病院 麻酔科・中央材料室 水谷 光

佐賀大学医学部 麻酔・蘇生学教室 坂口 嘉郎

京都大学医学部附属病院 麻酔科 溝田 敏幸

東京大学医学部 麻酔科学講座 望月 凱・假屋 太郎

国立循環器病研究センター 集中治療科 南 公人

自治医科大学 麻酔科・集中治療医学講座 吉永 晃一

※誌面の都合により、内容は変わることがあります。

◆◆◆ お知らせ ◆◆◆

すでに、フェイスブックほか SNS で告知しているように、2026 年の年間購読をお申し込みいただいた方へのバックナンバープレゼントキャンペーンを行います。

まず、LiSA もしくは INTENSIVIST の 2026 年年間購読のお手続きをお済ませください。そして、日本臨床麻酔学会第 45 回大会の MEDSi ブースにて、雑誌購読に関するアンケートにご回答いただきましたら、その場でお好きな号をお選びいただけます。ただし、ご用意するバックナンバーには限りがあります。

2026 年も充実したラインアップで皆様のご期待に応えます！

◆◆◆ 今月の our favorite ◆◆◆

なんといっても「総合目次」。

校正をしながら、この 1 年間のすべての記事をを振り返ることができます。この企画の発案はこうだったとか、あの企画検討ではあんなことがあったとか、執筆者探して苦労したとか、原稿を読んで感動したとか、レイアウトが難しかったとか。そして、大勢で LiSA を作っていることを実感します。

全体を通して見ると、デザイン的に修正すべきところに気づきますが、今後の教訓ということで。(E)

厚生労働省によると、2023 年の全分娩のうち無痛分娩は 13.8% と、急激に増えています。一部で費用助成も始まり、さまざまな既往歴のある無痛分娩希望者も出てくるでしょう。今回の症例ライブラリーではそんなケースを取り上げました。かつては無痛分娩を行っている施設を探すのも一苦勞でしたが、大きく変化していると感じました。(N)

徹底分析シリーズは 7 年ぶりの“ロボット手術”です。微細な操作で従来以上の低侵襲手術を可能にした手術支援用ロボットは、医療現場の風景を変えたとも言われ、今では代表的な da Vinci のほか、国産機を含む多くの機種が臨床応用されています。導入・維持のコストや術者の習熟に要する時間などの課題も多く残りますが、この 7 年は、ロボットが医師の“相棒”として進化を続けてきた期間と言えるかもしれません。(H)